

トーク&ディスカッション

高校生物教科書を考える ～「生物基礎」重要用語を題材に～

日時 2019年6月8日(土) 午後2時～5時

会場 名城大学附属高等学校 生物室

(名古屋市中村区新富町1-3-16)

名鉄電車「東枇杷島」駅下車徒歩約5分(普通電車のみ)

「栄生」駅下車徒歩約8分(急行・準急および普通)

話題提供者 松浦克美氏 (首都大学東京名誉教授)

次期学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が言われ、「教科書の内容を教師が一方的に教える」スタイルの変容が求められています。

「主体的に考え」「議論に積極的に参加し」その結果として「深い学び」につながる題材の一つとして、「『生物基礎』における重要用語」を取り上げ、参加者と話し合ってみてほしいと思います。話題提供者は、現行および次期学習指導要領作成協力者のお一人である首都大学東京名誉教授 松浦克美氏。

次期学習指導要領解説理科編には「主要な概念を理解させるための指導において重要となる200語程度から250語程度までの重要用語・・・」という表現が盛り込まれています。高校教員が考える『生物基礎』重要用語とは？ みんなで考えてみたいと思います。

※参加費(資料代) 500円

※意見交換会について

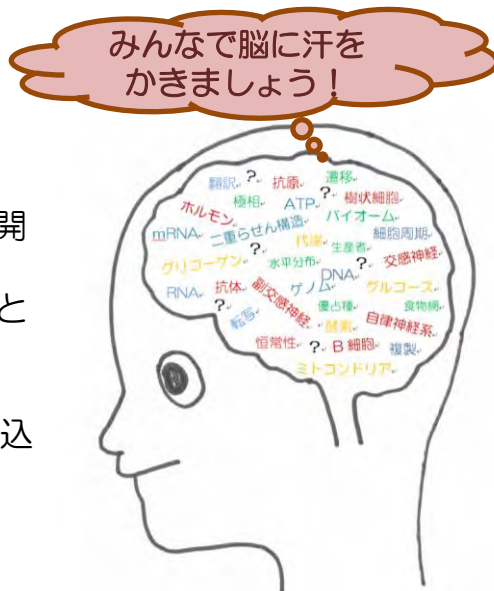
17時30分頃から、名古屋駅近くで意見交換会を開催します。会費は4,000円程度。議論しきれなかったことについてワイワイ話し合いができればと思います。

※準備の都合上、5月31日までに下記までお申し込みください。

申込先：中道貞子(生物教育研究所・研究員)

teikonakamichi@hotmail.co.jp

電話 090-5367-9778



主催 生物教育研究所
共催 名城大学附属高等学校

【註】生物教育研究所について

生物教育に関わるさまざまな活動を続けている生物教育者(主として、フルタイム勤務を終えた者)で構成されている研究機関。研究員は、それぞれが関心のあるテーマについて研究活動や啓蒙活動を行っている。

所長:片山舒康(東京学芸大学名誉教授)